シラバス参照

タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	RMGT2601S		
科目名	基礎ゼミ		
担当教員	中林　啓修		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火３		
講義室	1314	単位区分	必
授業形態	演習・ゼミナール	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	総合学修		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 ＤＰ１－Ｅ〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 ＤＰ４－Ｆ〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 ＤＰ３－Ｈ〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 ＤＰ４－Ｉ〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ＤＰ６―Ｋ〔表現力・対話力〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連 Ｅ１ 学識と専門技能（30%） Ｆ１ 探究力・課題解決力（20%） Ｈ１ 論理的思考力（10%） Ｈ２ 批判的思考力（10%） Ｉ１ 理解力・分析力（10%） Ｋ１ ライティング・コミュニケーション（10%） Ｋ２ オーラル・コミュニケーション（10%）		
教員の実務経験	担当教員は、独立系シンクタンクや、沖縄県庁などに勤務する中で、さまざまな研究調査の企画や資金獲得のための計画書作成などを行ってきた。本講義では、それらの経験を活かし、受講生が個人で研究調査を立案し、具体的な研究計画を作成できるよう指導していく（2-15回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット　能力開発の目標ステージと対応 ２ 進行期 ～ ３ 発展期		
科目概要・キーワード	危機管理に関する多様な研究分野の中から，学生個人がそれぞれ１つの研究テーマを構築するために必要な，危機管理学に関する基礎的な演習を行う。専門基幹科目における法学系科目や専門展開科目における災害マネジメント，パブリックセキュリティ，グローバルセキュリティ，情報セキュリティの各領域の危機管理系科目を担当する教員が，それぞれの研究分野における研究の手法について指導する。ここでの学びが，２年次後期からのゼミナールでのより専門的な研究活動への橋渡しの意味をもつ。本演習では，危機管理上の諸問題の背景や原因の特定からはじめて，その解決に向けた研究計画の立案，集団的な研究の遂行や，その成果のプレ		

	ゼンテーションによる表現までを一通り行うことを目標とする。 授業は講義により行う（一部に演習を取り入れる）。なお，授業の一部を補完するため，あるいは代替するためにディスタンスラーニング（遠隔授業）を取り入れる場合がある。 ■キーワード：防災、緊急事態対処、自治体
授業の趣旨	■副題 主に自治体の立場がから、災害と緊急事態への対処を学ぶ。 ■授業の目的 自然災害（地震及び風水害）と緊急事態（大規模テロ等、大学の立地地域即した内容）への対応を体系的に概観するとともに、研究に必要な資料収集の方法等を学ぶことで、ゼミナール等で専門的な研究に取り組むための基礎を作る。 ■授業のポイント 講義と演習を組み合わせることで、単に知識の取得に留まらない、実践性を身につける。
総合到達目標	自身がゼミナール等で取り組みたい分野の主要トピックスについて把握し、取り組むべき研究分野を決定できる。 具体的な研究テーマの探究に着手できるだけの研究手法（資料収集の方法などを含む）を実践できる。
成績評価方法	■以下の方法で総合的に評価します（15回）。 （評価の観点）ワークショップでの個人ワークやグループワークに積極的に参加し、研究上の役割・分担を適切にこなすとともに、研究活動を通じて専門知識を高め、探究力や論理性を発揮しているかどうかをみます。 （フィードバックの方法）演習の過程で随時コメントします。 ■(適用ルーブリック-割合) Ｅ１ 学識と専門技能（30%） Ｆ１ 探究力・課題解決力（20%） Ｈ１ 論理的思考力（10%） Ｈ２ 批判的思考力（10%） Ｉ１ 理解力・分析力（10%） Ｋ１ ライティング・コミュニケーション（10%） Ｋ２ オーラル・コミュニケーション（10%）
履修条件	特にありません。
履修上の注意点	ワークショップがあるので、積極的な参加を期待します。
授業内容	

回	内容
1	①授業テーマ　ガイダンス・自己紹介 ②授業概要　講義スケジュールの説明や授業構成、成績の考え方など授業のガイダンスを行う。あわせて、受講生の自己紹介を行う。 ③予習（60分）シラバスの全体をよく読み、自分が取り組んでみたいテーマや分野について考えておく。 ④復習（60分）講義資料を確認し、自分のテーマについての研究の進め方についてイメージしておく。自己紹介で他の人が話した内容も参考にすること。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
2	①授業テーマ　自然災害（１）：制度を知る その１ ②授業概要　自然災害への対応に関連する制度を学ぶ。＜Ｅ１、Ｆ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｋ１、Ｋ２＞ ③予習（120分）災害対策基本法について調べておく。 ④復習（120分）　講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
3	①授業テーマ　自然災害（２）：制度を知る その２ ②授業概要　自然災害への対応に関連する制度を学ぶ。＜Ｅ１、Ｆ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｋ１、Ｋ２＞ ③予習（120分）防災や災害対策について、災害対策基本法以外にどのような制度があるかについて調べておく。 ④復習（120分）　講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
4	①授業テーマ　自然災害（３）：対応 を知る ②授業概要　自然災害への対応事例を主に自治体の観点から学ぶ。＜Ｅ１、Ｆ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｋ１、Ｋ２＞ ③予習（120分）熊本地震について、どのような災害であったか調べておく。 ④復習（120分）　講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。

5	①授業テーマ　自然災害（４）：課題を考える（ワークショップ） ②授業概要　熊本地震を事例に、ワークショップ（個人ワークとグループワークを行う）を通じて、現代の災害における社会的課題について学ぶ。＜Ｅ１、Ｆ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｋ１、Ｋ２＞ ③予習（120分）第4回の資料を見直し、改めて、熊本地震がどのような災害であったか調べておく。 ④復習（120分）　講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
6	①授業テーマ　自然災害（５）：対応を考える（ワークショップ） ②授業概要　首都直下型地震の想定を用い、ワークショップ（グループワーク）を通じて、自治体による地震災害対応の課題やあり方について学ぶ。＜Ｅ１、Ｆ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｋ１、Ｋ２＞ ③予習（120分）これまでの資料をよく復習しておく。また、首都直下型地震について調べておく。 ④復習（120分）　講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
7	①授業テーマ　自然災害（６）：対応を考える（ワークショップ） ②授業概要　過去の風水害を用い、ワークショップ（グループワーク）を通じて、自治体による風水害対応の課題やあり方について学ぶ。＜Ｅ１、Ｆ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｋ１、Ｋ２＞ ③予習（120分）これまでの資料をよく復習しておく。また、最近の風水害について調べておく。 ④復習（120分）　講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
8	①授業テーマ　緊急事態（１）：トレンドを知る/テロ・紛争 ②授業概要　現代のテロや紛争の傾向・課題を学ぶ。＜Ｅ１、Ｆ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｋ１、Ｋ２＞ ③予習（120分）現代のテロや紛争にどのような特徴があるか、自分なりに調べておく。 ④復習（120分）　講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
9	①授業テーマ　緊急事態（２）：制度を知る その１ ②授業概要　緊急事態への対応に関連する制度を学ぶ。＜Ｅ１、Ｆ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｋ１、Ｋ２＞ ③予習（120分）事態対処法と国民保護法について調べておく。 ④復習（120分）　講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
10	①授業テーマ　緊急事態（３）：制度を知る その２ ②授業概要　国民保護措置に関連する制度を学ぶ。＜Ｅ１、Ｆ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｋ１、Ｋ２＞ ③予習（120分）前回の資料を復習して国民保護法について更に調べておくとともに、最近の訓練動向について調べておく。 ④復習（120分）　講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
11	①授業テーマ　緊急事態（４）：課題を考える その１ ②授業概要　国民保護措置に関するワークショップを通じて現在の緊急事態対処に関連する課題を学ぶ。＜Ｅ１、Ｆ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｋ１、Ｋ２＞ ③予習（120分）第8回から10回までの資料を復習しておく。 ④復習（120分）　講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
12	①授業テーマ　緊急事態（５）：課題を考える その２ ②授業概要　国民保護措置に関するワークショップを通じて現在の緊急事態対処に関連する課題を学ぶ。＜Ｅ１、Ｆ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｋ１、Ｋ２＞ ③予習（120分）第8回から10回までの資料を復習しておく。 ④復習（120分）　講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
13	①授業テーマ　研究技法（１）：研究の方法を学ぶ その１ ②授業概要　これまでのワークショップで使った資料類などを例に、今後、受講生が各自で研究を行う際に有益は研究技法を学ぶ。受講生の進捗や所有する備品に応じ、内容は授業中に指定するが、可能であれば、簡易なGISソフトの使い方などを学ぶことも視野に入れる。＜Ｅ１、Ｆ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｋ１、Ｋ２＞

		③予習（120分）指定した内容について調べておく。 ④復習（120分）　講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
	14	①授業テーマ　研究技法（２）：研究の方法を学ぶ その２ ②授業概要　これまでのワークショップで使った資料類などを例に、今後、受講生が各自で研究を行う際に有益は研究技法を学ぶ。受講生の進捗や所有する備品に応じ、内容は授業中に指定するが、可能であれば、簡易なGISソフトの使い方などを学ぶことも視野に入れる。＜Ｅ１、Ｆ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｋ１、Ｋ２＞ ③予習（120分）指定した内容について調べておく。 ④復習（120分）　講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
	15	①　まとめ ②　講義内容全体を振り返りまとめとして重要事項を再確認する。また、ゼミナールⅠの紹介を行う。
関連科目		RMGT4601Sゼミナール Ⅰ、RMGT4602Sゼミナール Ⅱ、RMGT4603Sゼミナール Ⅲ、RMGT4604Sゼミナール Ⅳ、RMGT4605Sゼミナール Ⅴ
教科書		特に用いない。グループや各自の研究発表の機会などに必要と思われる文献などを指定する。
参考書・参考ＵＲＬ		特に指定しない。グループや各自の研究発表の機会などに必要と思われる文献などを指定する。
連絡先・オフィスアワー		■連絡先：開講時に告知する ■オフィスアワー：開講時に告知する
研究比率		■危機管理領域との対応 災害マネジメント35%；パブリックセキュリティ35%；グローバルセキュリティ15%；情報セキュリティ15% ■危機管理と法学とのバランス 危機管理学70%：法学30%

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.